

**令和4年度
カーボンニュートラル
に関する要望書**

令和4年10月31日

豊田市議会 市民フォーラム

【愛知県豊田市】

平素は、市民生活の安全安心とともに産業活動を支え、経済の発展に日々ご尽力いただき心から感謝申し上げます。また、私たち豊田市議会の活動に格別のご高配を賜り、心から御礼申し上げます。

国が目指す「2050年カーボンニュートラル（CN）」実現への取組は、日本経済の持続的成長を後押しする喫緊の課題として捉えています。また、これまで日本経済を牽引し、雇用を生み出してきた自動車産業では100年に一度の大変革期を迎えており、この危機的状況に対して産業と政治が一体となり取り組むことが求められています。

豊田市は広大で多様な地域性を持つとともに、自動車産業の一大集積地があります。今後も引き続き、日本のモノづくりの中心を担い、世界的競争力のある地域としての役割を果たしていくため、グリーンリカバリーを通じた再生可能エネルギー施設や省エネ設備の導入に加え、次世代モビリティの普及を進めています。

豊田市の基幹産業である自動車産業をはじめ多くの企業が直面する極めて厳しい環境を鑑み、下記のCNに係る予算確保を要望いたします。

1. CNに向けた電動車・水素社会への対応

- ・ 電動車の普及に向けた補助金・優遇税制の拡充
- ・ 充電インフラ/水素ステーション整備の支援拡充

2. 持続可能なものづくり産業への対応

- ・ 電動化にともなう業態転換への支援
- ・ LCA(ライフサイクルアセスメント)につながる脱炭素技術の研究開発支援

3. クリーンエネルギー導入への対応

- ・ 再生可能エネルギー研究開発支援の拡充
- ・ 再生可能エネルギー導入補助金・優遇税制の拡充
- ・ 省エネ設備導入支援の拡充

令和4年10月31日

豊田市議会 市民フォーラム

代表

中村孝浩

幹事長

日當浩介

政策審議会長

塩谷雅樹

作元志津夫

古木吉昭

吉野英国

鈴木孝英

中尾俊和

倉山和之

山本義勝